



日間賀島合宿2016のご案内 (第2報)

日間賀島を会場にして毎年恒例で実施している、発達障害の子どもや青年、そのきょうだいを対象とした支援体験合宿をこの夏も行います。発達障害の子どもや青年に必要なスキルトレーニングの大枠を合宿形式で取り組むことによって、その後の日常的な支援をやりやすくしていきます。今回のご案内では、各プログラムの詳細をお知らせいたします(次ページ)。参加プログラムの決定にご参照ください。

各スキルトレーニングには、アスペ・エルデの会統括ディレクターである辻井正次を総責任者として、わが国の一線級の発達障害児者支援の専門家が参加します。新しい有効な支援プログラムの開発を兼ねつつ取り組むこの合宿は、基本的にはセミオーダー(お子さんの特性や困りごとに合わせたプログラム)であるため、今までグループによる支援経験が少ない場合でも、楽しい経験をすることができます。さらに、日間賀島観光協会のご協力のもと、民宿を活用した合宿であるため、海の美味しい物を食べ、海でたくさん遊びながら、楽しい体験のなかで学びを進めることができます。



医療ケアに関しては、浜松医科大学および大阪大学等連合大学院小児発達学
研究科の医療スタッフが常駐し、参加者の健康管理を行います。

※ 合宿の詳細は、辻井正次『発達障害のある子どもたちの家庭と学校』(遠見書房、2013)あるいは『楽しい毎日を送るためのスキル: 発達障害のある子のステップアップ・トレーニング』(日本評論社、2012)等をご覧ください。

日 程: 第1クール; 平成28年 8月16-20日

第2クール; 平成28年 8月21-25日 (第1~2クールを通した参加も可能)

会 場: 日間賀島(愛知県南知多町)内の民宿等

参加費用: 正 会 員; 60,000円(予定、税込)

外部参加者; 70,000円(予定、税込)(参加段階では賛助会員登録をしていただきます)

(内訳; 4泊5日の宿泊費、支援スタッフやプログラムディレクターの宿泊費等、プログラムのための経費等、高速船代等)

なお、高校生以上のきょうだいは、上記より安価な価格を予定しています。

スタッフ: 総責任者; 辻井正次(中京大学教授)

プログラムディレクター(予定); 井上雅彦(鳥取大学教授)、岩永竜一郎(長崎大学教授)、小倉正義(鳴門教育大学准教授)、黒田美保(名古屋学芸大学教授)、白石雅一(宮城学院女子大学教授)、高柳伸哉(愛知東邦大学助教)、萩原拓(北海道教育大学教授)、明翫光宜(中京大学准教授)、山根隆宏(奈良女子大学講師)、等、わが国の一線級の支援専門家。

お子さん1人につき支援スタッフ(事前トレーニングを受けた学生)が1人つきます。

スキルトレーニングプログラム内容: 裏面をご参照ください。

申込方法: **アスペ・エルデの会にメールでご連絡ください。**

件名を『日間賀島合宿 参加希望』として以下のアドレス(アスペ・エルデの会事務局)までお送りください。

メールアドレス: info@as-japan.jp

※ 7月31日(日)(どうしても難しい場合は30日)に、事前面談にお越しいただく必要があります。

申し込み〆切 7月25日(月)



【4泊5日の流れ】 ※天候等によって変更の可能性があります

- 1 日 目 午前：河和港集合、スタッフと合流 → フェリーで日間賀島移動 → 昼食（持参） → 午後：海水浴
- 2～4日 目 午前：プログラム → 昼食 → 午後：海水浴 → 夕食 → 夜：ナイトウォーク、制作、キャンプファイヤなど
- 5 日 目 午前：プログラムの振り返り → 昼食 → 午後：フェリーで河和港移動、保護者お迎え

【日間賀島合宿 2016 スキルトレーニングプログラムの内容（予定）】

| 前半（8月16日～8月20日） | |
|-----------------|---|
| プログラム名 | プログラム概要 |
| 1 | <p>SST -気持ちと仲良くなる方法- (山根隆宏先生)</p> <p>対象者：特に制限なし</p> <p>内 容：おだやかな気持ちで過ごすための基本的な方法を身につけるプログラムです。気持ちには様々なものがあることや、気持ちが生況や考えによって変わることを学び、おだやかな気持ちで生活できるように様々なコツを学ぶものです。また、嫌なことや不安なことを上手に断り、助けてくれる人をうまく活用する方法も学ぶなど、基本的な社会的スキルを学ぶことも目標にします。</p> |
| 2 | <p>整理整頓・不注意への対応 (白石雅一先生)</p> <p>対象者：①整理整頓が苦手の自覚があること ②不注意があることの自覚をもっていること ③それらを前提に、「取り組みたい」と本人も思っていること ④自分で文章（作文）が書けて、ある程度、内容を言葉で人に伝えられること ⑤移動拒否や参加拒否、極度の睡眠障害がないこと</p> <p>内 容：①自己理解、②整理整頓や片付けの事前計画の重要性、③環境設定や準備の仕方、④面倒くさがり防止、⑤不注意対応グッズの選定、⑥仲間と対処することを学ぶ、を基本に進めます。お子さんへの事前周知をお願いします。</p> |
| 3 | <p>感覚・不器用への対応 (岩永竜一郎先生)</p> <p>対象者：身体感覚の問題や不器用さ（揺れやスピードが怖い、自分の体がどうなっているのかわからない、手先を使う課題や体育が苦手、など）がある子ども</p> <p>内 容：ボディイメージを育てる活動、全身協調運動、書字、工作などを取り入れた活動を予定しています。</p> |
| 4 | <p>ライフプランニング (井上雅彦先生)</p> <p>対象者：自立生活が視野に入ってきた人向け（年齢制限なし）</p> <p>内 容：広汎性発達障害(以下、PDD)の高校生と大学生を対象とし、青年期を迎えたPDD者が身につけておくべき社会的スキルの習得を目的とします。対象者が将来的に自立することを想定し、自立に向けて必要とされるスキルについて学ぶことを目的とします。プログラムの内容は、参加者が困っていることを事前に調査してから決定します。これまで、①時間や物の管理の仕方、②インターネットの適切な使用方法、③一人暮らしのお金の管理の仕方、④自分に合った職業の選び方について、の4点に焦点をあてて取り組んでいます。</p> |
| 5 | <p>感情理解 (明翫光宣先生)</p> <p>対象者：年齢制限はありませんが、ある程度の言語理解（70）があると効果が期待できます</p> <p>内 容：イライラ（怒り）・ソワソワ（不安）でつつい行動に出てしまうお子さんのために、不安や怒りとは何かについて学び、それらの気持ちについて、どんなときにどう対処していけばよいかについて体験的に学びます。感情理解の他、リラクゼーション、相手の気持ちを考えてみること、問題解決のステップについて考えてみます。</p> |
| 6 | <p>きょうだい (高柳伸哉先生)</p> <p>対象者：きょうだい</p> <p>内 容：アスペ・エルデの会に所属する発達障害児者のきょうだい（兄弟姉妹）への支援をテーマに行います。参加者のきょうだいへの接し方の検討や、特徴の整理とともに、年齢などに応じて参加者自身の自己理解も扱います。またグループワークを通して、家庭での「きょうだいあるある」など、参加者同士の共有やそれぞれの違いの発見、参考にできるポイントの学びなどにもつながっていきます。</p> |
| 後半（8月21日～25日） | |
| 1 | <p>日常生活快適化 (萩原拓先生)</p> <p>対象者：特になし（日間賀島合宿初参加の方おすすめ）</p> <p>内 容：日間賀島合宿が初めての子どもたちが、日間賀島に慣れ、なにより楽しい思い出を作っていくこと、その中で毎日の生活を快適に過ごせるような着替え、荷物の整理整頓、食事、入浴などの日常生活スキルを身につけていきます。</p> |
| 2 | <p>女の子 (黒田美保先生)</p> <p>対象者：女の子</p> <p>内 容：日常生活を集団で共にするという合宿の利点を活かして、身だしなみに必要な知識などスタッフを交えて互いに確認します。それらを踏まえて、合宿生活も題材にしながら女の子としてのソーシャルスキル・コミュニケーションスキル・日常生活の課題についてそれぞれ取り組んでいきます。自分の姿を客観的に見るために、カメラ等の利用することがあるかもしれません（使用は合宿中のみ利用に限ります）。</p> |
| 3 | <p>自己理解 (小倉正義先生)</p> <p>対象者：小学校高学年～高校生</p> <p>内 容：思春期・青年期に求められる進路決定やライフプランニングに必要な自分自身の得意な側面・苦手な側面の理解を促し、自己成長へのモチベーション、生活面の成長、心理的適応の向上を目指すことが本プログラムの目的です。告知の有無、参加メンバーの状況、特性に応じて具体的な内容を検討する予定です。</p> |